

学校再編についての保護者との意見交換の概要

期 日	平成 24 年 8 月 29 日 (水)	時 間	19 : 00 から 20 : 30 まで
場 所	中央公民館 大講義室		
出席者 (学校関係者を含む。)	26 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	回 答	
1	学校再編は 1 校なのか、それともブロックごとで行うのか。	まだ決まっていないが、教育委員会の会議の中で協議を進めており、今後決定していく。	
2	小学校では学校再編を考えているのか。	今回は中学校の学校再編について進め、小学校は考えていない。	
3	学校再編について子どもたちから意見を聞くことは考えているのか。	子どもたちから意見を聞くことは考えていないが、保護者の意見は聞かなければならないと考え、今回の会議を設けたところである。	
4	例えば 2 校とか、子どもたちが選べる環境が必要ではないか。	検討する中で選択肢も含め、最終的に決定していく。	
5	各地区を回って出た質問・意見はどんなものがあるのか。	生徒の登下校の距離が遠くなるのでその通学方法、合同で開催している運動会はどうか、地域の伝統芸能を継承しているがどうか、制服はどうか、学校を残したい、学校再編のスケジュールなどがあった。	
6	串間市と同規模の学校再編をしたところがあれば、成果と課題があると思うが、事例を教えてほしい。	小中一貫校については、同世代が一定数確保されないと疑問を感じる。 鹿児島県曾於市、垂水市などがあり、通学路が課題であり、部活動の選択肢が広がったということが成果であった。	